

決 | 算 | 報 | 告

寄付金収入	19,396,183円
助成金支出	13,571,873円
事務経費	1,357,187円 (助成金支出×10%)
残 額	4,467,123円

残額は、今後の災害時に備えた検証・防災・減災活動や、将来起こりうる災害の支援活動のために活用させていただきます。

「災害ボランティア・NPO活動サポート募金(ボラサポ)」へのご寄付のお願い

中央共同募金会では、将来起こりうる災害の支援活動や、今後の災害時に備えた防災・減災活動に役立てるため、「災害ボランティア・NPO活動サポート募金(ボラサポ)」へのご寄付を常時受け付けております。

近年、毎年のように風水害や地震などの災害が数多く発生し、その都度多くのボランティア・NPO団体が被災された方への支援活動を展開しています。多くのみなさまのご支援・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

また、大きな災害が発災した場合は、その災害支援に特定したご寄付も受け付けることとしております。詳しくは本会ホームページをご覧ください。

ご寄付先口座

送金先金融機関：三井住友銀行 東京公務部

口座番号：普通預金 0042262

口座名義：社会福祉法人 中央共同募金会

※クレジットカードでのご寄付も受け付けております。



❖問い合わせ先

社会福祉法人 中央共同募金会 基金事業部

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル5階

Tel 03-3581-3846 Fax 03-3581-5755

Email: kikin@c.akaihane.or.jp URL: https://www.akaihane.or.jp/

発行：2019年6月



2018年大阪府北部地震被災地支援活動助成事業報告書



赤い羽根の中央共同募金会



はじめに

2018年6月発生した大阪府北部地震において、お亡くなりになられました方々に哀悼の意を表しますとともに、被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

この助成事業は、この地震の被災者を支援するボランティア・NPO団体の活動費用を助成する目的で、企業・団体・個人の方から寄せられたご寄付を財源として実施いたしました。

つきましては、この助成を受けて展開された、被災地の復旧・復興支援活動、被災された方々の支えとなる活動について、ご報告させていただきます。

ご理解、ご支援をいただいた多くみなさまへ、深く感謝申し上げます。

社会福祉法人 中央共同募金会

大阪府北部地震について

2018年6月18日(月) 午前7時58分、大阪府北部を震源地に震度6弱(M6.1)を記録する地震が発生しました。被害は、大阪府豊中市、箕面市、高槻市、茨木市、摂津市、枚方市等の複数の市町にまたがり、水道・ガス等のライフラインが止まりました。また、6人の方が亡くなり、369人が負傷され、最大2,397人の方が避難しました。多くの家屋が被害を受け、その内訳は全壊18棟・半壊512棟・一部損壊55,081棟にのぼりました(2018年11月2日現在、大阪府発表資料より)。

この大阪府北部地震発災を受け、大阪府内7市に災害ボランティアセンターが開設されたほか、大阪市内においてもボランティアによる支援が行われ、2018年6月末までで延べ4,000名を超えるボランティアが活動を行いました(全国社会福祉協議会・全国ボランティア・市民活動振興センター調べ)。

大阪府北部地震災害の特徴として、以下の2点があげられます。1点目は「被害状況が見えにくい災害」であったことです。倒

壊家屋などはわずかであり、街を一見しただけでは被害の深刻さを把握することは困難です。しかし、街中を歩くと、屋根瓦のずれや建物の外壁の亀裂など、損壊した住戸が多く見られます。業者に修理を依頼しても長い順番待ちを余儀なくされた、また修理したくてもその費用が負担できなかったという声も多く聞かれました。

2点目は、「都市型の災害」であったことです。被害の大きかった大阪府北部地域は、人口が密集しており、かつ市町外から移り住んだ住民がその多くを占めている地域です。地域のつながりが希薄な地域もあり、支援を必要とする声を上げにくい人たちへ必要な支援が行きわたらず、困りごとが埋もれてしまう危険性がありました。

これらの特徴を支援者として認識したうえで、行政、社会福祉協議会、民生委員やボランティアなどにより、丁寧な安否確認や戸別訪問が実施されました。そのなかで、埋もれたニーズが多く発見され、困りごとを解決するための活動が展開されました。

大阪府北部地震被災地支援活動助成事業について

中央共同募金会では、2018年6月22日より「大阪府北部地震に係るボランティア・NPO活動支援金」の寄付募集を開始し(2018年9月28日まで受付)、その寄付金を原資に、被災地で支援活動を実施するボランティアグループやNPO(5人以上のグループであれば法人格の有無は問わない)等に対し、下記の内容で助成を実施することとしました。

助成概要

●助成対象となる活動と助成限度額

①緊急救援活動

活動日数が30日以内の短期の支援活動
1団体50万円を限度

②復旧・復興支援活動

活動日数が31日以上の中・長期の支援活動
1団体200万円を限度

●助成対象となる経費

活動や事業に必要な直接経費のほか、人件費等の間接経費も対象

●助成対象となる活動期間

2018年6月18日～2018年12月31日(応募前の活動についてもさかのぼって助成)

●助成応募受付期間

2018年9月12日～10月10日

公募の結果、合計13件、総額1,714万円の応募を受け付けました。

その主な活動内容は、安否確認や炊き出し、配食サービスの実施、屋根瓦が破損した家屋へのブルーシート張り、損傷した塀等の撤去、家屋内の片づけ、家具の運び出し等のほか、災害ボランティアセンターの運営支援やボランティアコーディネート等でし

助成決定にあたっては、事務局による下審査ののち、下記のメンバーによる運営・審査委員会を2018年11月28日に開催し、審査を行いました。

(敬称略・2018年11月現在)

委員長 東京ボランティア・市民活動センター 所長
山崎 美貴子

委員 1%クラブ 事務局次長
長澤 恵美子
日本大学文理学部 社会福祉学科 教授
諏訪 徹
特定非営利活動法人
全国災害ボランティア支援団体ネットワーク 事務局長
明城 徹也
社会福祉法人 全国社会福祉協議会 地域福祉部長 兼
全国ボランティア・市民活動振興センター所長
高橋 良太
社会福祉法人 中央共同募金会 常務理事
渋谷 篤男

臨時委員 社会福祉法人 大阪ボランティア協会 事務局長
永井 美佳

選考にあたっては、活動の目標や問題意識、手法、住民の参画性や他団体との連携等、ボラサポの審査の際に基準としている点のほか、今回は「おおさか災害支援ネットワーク」(OSN)が開催している災害時連携会議への参加や、活動場所の「災害ボランティアセンター」等との連携についても確認を行い、被災地における連携状況を重視して選考を行いました。

その結果、活動状況が把握できなかった1団体を不採択とすることとし、12団体の助成を決定しました。

なお採択した活動において、当助成の運営・審査委員と役員の重複のある2団体からの応募が含まれていましたが、該当案件の審査の際は審議に加わらず、公平性を担保したうえで審査を行いました。

大阪府北部地震被災地支援活動助成事業 助成団体一覧

■緊急救援活動

NO	団体名	所在地	活動名	活動地域	助成額(円) (最終精算額)
1	災害ボランティア愛・知・人	愛知県	大阪府北部地震被災者のための家屋復旧作業及びボランティア受入れの運営支援活動	大阪府吹田市・高槻市	500,000
2	ロハス南阿蘇たすけあい	熊本県	大阪府北部地震被災者のための災害復旧初動ボランティア活動	大阪府茨木市	500,000
3	社会福祉法人 河内長野市社会福祉協議会	大阪府	大阪府北部地震災害の被災地支援のためのボランティアワゴン運行活動	大阪府吹田市・茨木市	39,419

■復旧・復興支援活動

1	ピースポート 災害ボランティアセンター	東京都	被災者支援をする為のおおさか災害支援ネットワーク事務局のサポート事業	大阪府茨木市・高槻市・枚方市・吹田市・豊中市	882,797
2	社会福祉法人 大阪ボランティア協会	大阪府	災害時の連携・協働を促進するためのネットワーク構築および成果検証事業	大阪府内全域	2,000,000
3	特定非営利活動法人 暮らしづくりネットワーク北芝	大阪府	大阪府北部地震における被災世帯のためのアウトリーチ型支援事業	大阪府箕面市	1,710,000
4	一般社団法人 タウンスペースWAKWAK	大阪府	富田地区被災者の避難所から仮住まいと生活再建支援とまちづくり計画の策定	大阪府高槻市	1,520,000
5	災害時要配慮者救援 NPOレスキューアシスト	大阪府	大阪府北部地震での被害にあわれた住人のための屋根の応急処置(ブルーシート張り)活動	大阪府茨木市・高槻市・吹田市・摂津市・枚方市	2,000,000
6	災害NGO結	沖縄県	地元拠点立ち上げ支援及びニーズ調査のための訪問活動事業	大阪府茨木市・高槻市	670,000
7	特定非営利活動法人 国際ボランティア学生協会	東京都	被災住民の生活安定のための災害VC運営サポート活動	大阪府茨木市・高槻市	980,000
8	特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク	東京都	大阪府北部地震におけるNPO等の支援団体のための情報協議のサポートおよび支援調整活動事業	大阪府全域	1,039,657
9	一般社団法人BIG UP 石巻	宮城県	大阪府北部地震の被災された方への復興支援事業	大阪府茨木市・高槻市・枚方市・吹田市	1,730,000

助成額合計 13,571,873

助成団体活動報告

団体名 災害ボランティア愛・知・人 (愛知県)

活動名 大阪府北部地震被災者のための家屋復旧作業及びボランティア受入れの運営

- 助成額：500,000円
- 活動場所・拠点：吹田市、高槻市
- 活動期間：2018年6月20日～8月31日
- URL：<http://ai-chi-jin.lolipop.jp>

熊本・島根県西部地震での経験をいかし、家屋の雨漏りを防ぐため屋根にブルーシートを張る応急処置や、通学路を優先に、危険なブロック塀の解体等を行いました。土嚢作りや板をシートに張り付ける簡単な作業は今後の災害にも役立つため、被災者にも一緒に行っていただくようにしました。また、ニーズが多く、ボランティアだけでは立ち行かないため、今回初の取り組みとして、瓦業者や工務店など業者の方向けに「ブルーシートの講習・情報交換会」を開催しました。その結果、私たちは業者に依頼できない事情がある被災者に特化して活動することができました。



団体名 ロハス南阿蘇たすけあい (熊本県)

活動名 大阪府北部地震被災地支援活動助成事業

- 助成額：500,000円
- 活動場所・拠点：茨木市
- 活動期間：2018年6月19日～12月31日
- URL：<https://rohasuminamiasotasukeai.jimdo.com/>

茨木市社会福祉協議会や技術系団体と連携して、身体の不自由な方やお年寄りの方を優先に、支援活動を行いました。具体的には、ニーズの高かった雨漏りの対応として、屋根瓦の撤去や補修、屋根にブルーシートを張る養生作業を行ったほか、家財の仕分けや搬出・運搬作業、引っ越し作業、物資の仕分けや運搬、倒壊しそうな土壁の撤去作業などを実施しました。また、住民の方を対象に、屋根のブルーシート張り講習なども他の技術系団体と協働で開催しました。作業を進めていくことを通じて活動が知られ、それがより多くの被災者のニーズ把握につながりました。新しい屋根養生の工法が生まれたことも成果の一つです。



団体名 社会福祉法人河内長野市社会福祉協議会 (大阪府)

活動名 大阪府北部地震災害の被災地支援のためのボランティアワゴン運行活動

- 助成額：39,419円
- 活動場所・拠点：吹田市、茨木市
- 活動期間：2018年6月30日、7月1日、7日、14日
- URL：<http://ksyakyu.blog90.fc2.com/blog-entry-1334.html>
<http://ksyakyu.blog90.fc2.com/blog-entry-1338.html>

被災された方々が、早期に普通の生活を取り戻すことができるように、災害ボランティアワゴンを4回運行し、吹田市と茨木市の災害ボランティアセンターの調整により、被災者支援活動(主に、被災家屋内のフローリングおよび防汚剤剥がし、家具の移動・運び出し・片づけ、家屋内の清掃等)を行いました。ボランティアワゴンの運行により、まとまったボランティア数を確保・事前にマッチング・活動先に入るまでの必要なオリエンテーションを済ませることで、被災地災害ボランティアセンターの負担を大きく軽減することができました。また、本会登録災害ボランティアのスキルアップにもつながりました。



団体名 一般社団法人ピースポート
災害ボランティアセンター (東京都)

活動名 被災者支援をする為のおおさか災害支援ネットワーク事務局のサポート事業

- 助成額：882,797円
- 活動場所・拠点：大阪市、枚方市、茨木市
- 活動期間：2018年6月19日～7月21日
- URL：<https://pbv.or.jp/blog/?p=21908>

大阪府内で活動するNPOなどの団体が情報共有を行う、「おおさか災害支援ネットワーク(OSN)」の事務局サポートとして、Facebookページの立ち上げや広報、記録などの活動を行いました。また、障がい者や独居高齢者など支援が行き届きにくい住民への支援を行うOSNの部会「要配慮者支援部会」の事務局サポート、茨木市や高槻市で在宅避難者などのニーズ把握のための訪問調査の支援、屋根のブルーシート張りなどの個別支援活動も実施しました。これまでの災害支援の経験をもとに、地元組織へ過去の事例などの情報提供を行うことを通じて、地元がよりよい支援を展開できるように支援しました。



団体名 社会福祉法人大阪ボランティア協会 (大阪府)

活動名 災害時の連携・協働を促進するためのネットワーク構築および成果検証事業

- 助成額：2,000,000円
- 活動場所・拠点：茨木市、高槻市、大阪市、その他大阪府内各所
- 活動期間：2018年6月18日～12月31日
- URL：http://www.osakavol.org/

「おおさか災害支援ネットワーク (OSN)」の当番事務局として、支援活動を行う団体が集まる災害時連携会議を11回開催し、情報共有や支援活動の連携・調整、各団体の強みを生かすコーディネートを行いました。また、課題別の支援団体が連携する場として、技術系支援団体を調整する「技術系支援部会」、障がい者や高齢者など配慮を必要とする人の支援を検討する「要配慮者支援部会」を開催したほか、府内の団体が行う情報提供活動の調整や戸別訪問活動などへの運営協力を行い、これらの取り組みの成果や課題を報告書としてまとめました。全国と府内の支援団体をつなぐハブの役割を担うことができたと感じています。



団体名 特定非営利活動法人暮らしづくりネットワーク北芝 (大阪府)

活動名 大阪府北部地震における被災世帯のためのアウトリーチ型支援事業

- 助成額：1,710,000円
- 活動場所・拠点：箕面市萱野地域、坊島地域
- 活動期間：2018年6月18日～12月31日
- URL：http://kurashinet.blog110.fc2.com/blog-entry-235.html

発災当日から、独居高齢者や障がいのいる家庭など情報が届きにくい世帯約200軒への訪問活動や避難所での炊き出しを行いました。その後も、安否確認、食料・水の配布、ガスの復旧、災害ゴミの片づけなどの情報提供を兼ねて、消防団や地域の福祉団体と連携し、訪問活動を行いました。団地集会所で週に1回、住民同士が顔を合わせる機会を設け、さまざまな団体と協働で、ゴミ出しサポート、ブルーシート張り、引っ越しなどの個別支援も行いました。復興期には、地域の自治会、民生委員、保護者などと一緒に、防災や減災を考えるワークショップを開催しました。今後も、住民参加型の防災の取り組みを進めていきます。



団体名 災害NGO結 (沖縄県)

活動名 地元拠点立ち上げ支援及びニーズ調査のための訪問活動事業

- 助成額：670,000円
- 活動場所・拠点：茨木市、高槻市
- 活動期間：2018年6月18日～7月24日
- URL：http://ngoyui.com/archives/1579

茨木市で、他の技術系団体と協力して立ち上げた「茨木ベース」を拠点に、屋根のブルーシート張りの応急処置作業や、重機でしか動かせないような大きな物の撤去や移動などを調整しました。また、必要な資機材の調達、活動を円滑にするための事務面の整備など、茨木ベースの運営をサポートしました。高槻市では、ボランティアを組織化し、被害の大きかった地区や高齢者の多い地区などへの戸別訪問を行い、得たニーズは随時災害ボランティアセンターや包括支援センターへ共有するとともに、ボランティアセンターの活動範囲では対応が難しい場合などは、茨木ベースなどとも相談し、随時対応を行いました。



団体名 特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会 (東京都)

活動名 被災住民の生活安定のための災害ボランティアセンター運営サポート活動

- 助成額：980,000円
- 活動場所・拠点：茨木市、高槻市
- 活動期間：2018年6月19日～12月16日
- URL：http://blog.canpan.info/ivusa/category_4/1

茨木市では、学生たちが、災害ボランティアセンターと連携して、避難所や地域住民に対して災害ボランティアセンター開設を周知するためのチラシを配布し、個別訪問による地域住民に対するニーズのヒアリング調査を行いました。また、家具の移動や整頓、瓦礫の運搬や撤去などの個別支援や、破損した屋根にかけるブルーシートの重し(土嚢)の作成なども行いました。高槻市でも災害ボランティアセンターと連携して、個別訪問によるニーズ調査を行い、家具の移動や整頓などの支援活動を行ったほか、ブルーシート張りのニーズを扱うサテライト(古曽部ベース)において、情報整理、事務作業や住民への電話対応などの運営サポートを実施しました。



団体名 一般社団法人タウンスペースWAKWAK (大阪府)

活動名 富田地区被災者の避難所から仮住まいと生活再建支援とまちづくり計画の策定

- 助成額：1,520,000円
- 活動場所・拠点：高槻市富田地区
- 活動期間：2018年6月18日～12月22日
- URL：https://wak2.jimdo.com/

発災当日、フードバンク団体等と連携し、小学校区にある避難所3か所へ食料および水などを運搬し、翌日から、ボランティアを組織化して、安否確認および物資配布のため、市営住宅入居の高齢者、ひとり親家庭等の要援護者宅150軒を訪問しました。社会福祉法人・地元関係団体と連携し、配食サービス、避難所へのアロマ出張サービスを行ったほか、学習支援と食事支援を合わせた活動を毎週開催し、子どもたちの心のケアにあたりました。高齢者や要配慮者、生活困窮者の避難所から仮住居への引っ越し支援も行いました。また、市営住宅建て替え計画案を住民参加で企画するため、ニーズ調査やワークショップを実施しました。



団体名 災害時要配慮者救援NPOLレスキューアシスト (大阪府)

活動名 大阪府北部地震での被害にあわれた住人のための屋根の応急処置(ブルーシート張り)活動

- 助成額：2,000,000円
- 活動場所・拠点：茨木市、高槻市、摂津市
- 活動期間：2018年6月18日～9月18日
- URL：https://rescue-assist.net/

発災直後は茨木市すべての障がい者民間事業所へのアセスメント、困りごとの相談受付、炊き出し調整等を行いました。また、茨木市で、損壊した屋根にブルーシートを張る応急措置作業を行う技術系プロボノ団体の拠点「茨木ベース」を設立し、その幹事団体として道具調整や事務局運営、プロボノ団体やボランティアのコーディネートなどを、社協・市・地元団体等と連携して実施しています。現在も、全国からプロボノボランティアを受け入れ、家屋のブルーシート張りなどの支援活動をほぼ毎日実施しています。また地域住民や業者向けに、長持ちするブルーシートの張り方講座を7回開催し、延べ400人が受講しました。



団体名 特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)(東京都)

活動名 大阪府北部地震におけるNPO等の支援団体のための情報共有会議のサポートおよび支援調整活動事業

- 助成額：1,039,657円
- 活動場所・拠点：茨木市、高槻市、大阪市など
- 活動期間：2018年6月26日～12月31日
- URL：http://jvoad.jp/

発災当日に職員を派遣し、府域で災害支援にかかわるネットワーク「おおさか災害支援ネットワーク(OSN)」と連携して支援活動を行う団体の情報共有の場である「災害時連携会議」の開催をサポートし、各団体の活動状況把握、行政や社協からの情報収集、避難生活の状況把握とノウハウの提供、在宅避難者への生活状況調査の支援などの活動を行いました。課題の大きい分野では、分科会的に技術系団体の会議や障がい者支援を行う団体の会議が設定され、支援の地域的偏りが起きないように調整や、膨大なブルーシート張りニーズの優先順位づけなどを団体間で行うことができました。



団体名 一般社団法人BIG UP石巻 (宮城県)

活動名 大阪府北部地震で被災された方への復旧支援活動

- 助成額：1,730,000円
- 活動場所・拠点：茨木市、大阪市東淀川区、高石市
- 活動期間：2018年6月26日～12月31日
- URL：https://www.big-up-ishinomaki.jp/

発災の約10日後に現地に入り、「茨木ベース」を拠点に他の技術系団体と協力しながら、屋根のブルーシート張り作業を行い、その実施にあたっては、作業のコーディネートや現場調査のリーダーの役割を担いました。7月の西日本豪雨発災後、多くのNPOが各被災地に分散し作業人員の確保が困難となるなか、長期的支援を行いました。さらに、他の団体と連携して、住民を対象に「ブルーシート張り講習」を実施し、安全確認の知識や必要な道具、作業工程などの情報を提供しました。屋根のブルーシート張りは、今後劣化による再施工が必要となることが予想されるため、引き続きニーズ対応を続けていく予定です。

